



会津若松市

4 議題

(1) 伝統工芸品共同プロモーション 事業について

(会津若松市)

伝統工芸品共同プロモーション事業について（会津若松市）

【背景】

東日本地域には魅力ある伝統工芸品の産地が多い。
⇒国、県指定伝統工芸品、それ以外の歴史ある民芸品等

一方で、産地特有の課題も

【課題】

- ①作り手や後継者の不足
- ②市場や販路の縮小

広域自治体（東日本連携・創生フォーラム）による連携への期待

- ①産地課題の解決策やヒントの共有
- ②共同での魅力発信による相乗効果

【提案】

伝統工芸品共同プロモーション事業の実施

【協議経過】

- (1) 担当国会議 (7月9日)
- (2) 構成自治体へのアンケート調査 (7月27日)
- (3) 課長会議 (8月20日)

【事業実施にかかる問題点】

各都市の伝統工芸品に対する方向性や実施希望の事業内容に差がある。
⇒令和10年度実施を目標として検討を継続

【今後の進め方（案）】

以下2つの取組を実施する方向で調整。

○産地課題解決のための情報交換会の実施

○伝統工芸品の実演及び販売会の開催

第12回東日本連携・創生フォーラムの開催後、オンラインや書面開催等が可能である「産地課題解決のための情報交換会」を先行して開催。

また、会議での議題として、令和10年度に実施する共同プロモーションの手法等に関して、参加自治体間での協議調整を行うものとする。

また、先行的な取組として、令和9年度初めに、「東日本まるまるマルシェ」の開催に合わせた、伝統工芸品の実演及び販売会の開催を検討する。